







下肢切断術を受けられる患者様へ

月日(日時)	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()~ / ()	/ ()~ / ()
経過(病日等)	入院	手術当日	術後1日~7日	術後8~12日(転院基準)	術後14日(退院基準)
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆退院基準を理解し、同意する ◆手術の準備ができる ◆入院の必要性を患者・家族が理解し同意する 	<ul style="list-style-type: none"> ◆手術に対して不安が最小限である ◆痛みがコントロールできる ◆深部静脈血栓症の兆候がない 	<ul style="list-style-type: none"> ◆痛みがコントロールができる ◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆介助にて日常生活に支障がない ◆感染兆候がない 	【転院基準】 <ul style="list-style-type: none"> ◆転院・退院基準が理解できる ◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆痛みがコントロールできる ◆日常生活に支障がない ◆感染の徴候がない 	【退院基準】 <ul style="list-style-type: none"> ◆退院後の治療や注意事項が理解できる ◆深部静脈血栓症の兆候がない ◆痛みがコントロールできる ◆日常生活に支障がない ◆感染の徴候がない
治療・薬剤 (点滴・内服)	持参薬の確認をします 疼痛時鎮痛薬(坐薬)を使用します 	麻酔科医の指示で内服薬の調整をします 術後点滴があります 希望時鎮痛薬(注射)を使用します	術後1日まで朝夕に抗菌薬の点滴があります 希望時鎮痛薬(坐薬・内服)を使用して痛みを和らげます		
処置	弾性ストッキングを装着します 	手術のあとにフットポンプを装着します	創部の消毒があります 足首の運動ができ、可能であれば弾性ストッキングを脱ぎます	保護シールを取ります その後は創部の観察のみです(消毒は不要です) 術後10日目に抜糸があります	
検査	必要時血液検査・他科受診があります		術後1日目と1週間後血液検査があります		
活動・安静度		手術が終わって3時間はベッド上安静です その後は体は起こせます	日常生活に制限はありません		
食事	麻酔医の指示に従います 必要に応じて治療食となります	手術までは飲んだり食べたりできません 帰室後3時間後、吐き気がなければ水 またはお茶を飲むことができます その後食事もできます	制限ありません 		
清潔	入浴をしていただきます ひげそりをしていただきます		保護シールに変わるとシャワー浴ができます	保護シールが剥がれたら入浴できます	
排泄	排便の確認をします	手術後尿の管が入っています	尿の管が抜けてトイレでできます		
患者様及びご家族への説明 生活指導 リハビリ 栄養指導 服薬指導	主治医が治療又は手術について説明いたします 麻酔科医師が診察いたします 手術室看護師の訪問があります 理学療法士がリハビリについて説明いたします 看護師が入院生活について説明いたします 治療食の場合は栄養士より食事療法についての説明があります 薬剤師が薬についての説明をいたします 入院費に関するご心配がありましたら、お早めに医療福祉相談室にご相談ください	術後に主治医より説明があります	術後2日目で降りリハビリで訓練を開始します 治療食の場合栄養士が食事について説明いたします		主治医より病状の説明があります 看護師・理学療法士より退院後の生活についての説明をします

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。